

2016年7月1日

私立大学図書館協会
東地区部会研究部担当理事校
桜美林大学図書館
研究部研修委員会

私立大学図書館協会東地区部会 2016年度地域研修概要

1. 地域研修の目的

私立大学図書館協会東地区部会に加盟している大学の図書館構成員が参加する研修カリキュラムを構築し、私立大学図書館の館員育成及び発展に寄与することを目的とする。構築にあたっては、北海道、東北、北関東、甲信越・東海の各地域の加盟校の参加が容易な開催地を選択する。なお、今回は第一回目として東北地域での開催とした。

図書館職員数の減少に伴い、図書館員が受講できる研修はこれまで以上に希少な機会になっている。そのため、各研修プログラムには参加することによって得られる「成果」が一層求められている。学習ピラミッドの定着率の指標は、講義(5%)→読書(10%)→視聴覚(20%)→デモンストレーション(30%)→グループ討議(50%)→自ら体験する(75%)→他の人に教える(90%)、といわれており、問題解決型のPBL (Problem Based Learning)を行うことで、実際の業務に役立つ考え方の指標や技術を身につけるという考え方の下に、研修プログラムを企画する。

従ってこの研修では、①私立大学図書館が現在直面している共通の問題を取り上げ、②有識者の講義だけでなく、解決に向けて参加者が自ら考え、参加者同士のコミュニケーションから学び、③業務で実践的に活躍できる能力を養うことを目的とする。単に知識を得るだけでなく、アクティブラーニングや参加者間のコミュニケーション情報交換の場を提供することで、研修終了後のコミュニティ形成に寄与することも、副次的な目的である。

2. 到達目標

研修のテーマについて、問題意識をもって、主体的かつ論理的に考え、理解した内容を自分の言葉で説明し、仲間と交流して、この研修終了後には業務として実践できること。また、専任職員として必要な能力は何かを考え、以降のスキルアップの目標をみいだすこと。

3. 研修内容

＜テーマ：教育・学修支援における図書館員の役割－必要な能力開発を考える－＞

大学が担うべき情報リテラシー教育において、図書館の役割が重要性を増してきている。文部科学省中央教育審議会の「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）」ⁱでは、求められる取組(イ)として、「その際、TA等の教育サポートスタッフの充実、学生の主体的な学修のベースとなる図書館の機能強化、…」といった図書館の学修支援機能の充実が掲げられている。私立大学情報教育協会の「情報リテラシー教育ガイドライン」2013年版ⁱⁱ、国立大学図書館協会教育学習支援検討特別委員会の「高等教育のための情報リテラシー基準」2015年版ⁱⁱⁱなどがすでに出されている中で、どのように学修支援を具体化するかということは、各加盟館共通の問題意識であろう。また、このような大学図書館への期待に対して、求められる職員のスキルは、従来の資料・情報に対する知識だけでなく、高等教育の情報リテラシーの知識や、大学内での円滑な学修支援の運営方法、またアクティブラーニングといった教授法に関する知識等である。このテーマについて体系的に考え方を学び、技術を身につけるトレーニングを受ける機会とする。

初年度はこの「学修支援」をテーマに、講演、グループ討議、発表を行う。併せてコミュニケーションの場を設け、ランチミーティングで自由な情報交換ができる環境を用意する。なお、次回以降も加盟館に共通した問題を取り上げることで、その時節に応じたテーマを設ける。

＜カリキュラム＞

時間	カリキュラム	備考
10:00	開場・受付開始	
10:25	開講式・挨拶	研究部担当理事校
10:30-12:00	講演	教育・学修支援における図書館員の役割 －必要な能力開発を考える－ 講師：井上 真琴氏
12:00-13:30	懇親ランチ	研究部にて用意（無料）
13:30-15:30	グループ討議	指導：米澤 誠氏（東北大学附属図書館）
15:45-16:45	全体討議	高野 真理子氏（IAAL 理事）
16:45-17:00	閉講式	研究部担当理事校

※札幌から空路で3時間26分（6：31 ⇒ 9：57着）

静岡から電車で3時間5分（6：46 ⇒ 9：51着）

東京からなら最短 1 時間 31 分 (8 : 20 ⇒ 9 : 51 着)

<講師>

井上真琴氏 (『図書館に訊け!』の著者。同志社大学学習支援・教育開発センター事務長としてラーニングコモンズ的设计・運営を推進。同志社大学社会学部および図書館司書課程で「学术情報利用教育論」を担当する。

※グループ討議・全体討議の指導は、米澤誠氏 (東北大学附属図書館・IAAL 理事)、高野真理子氏 (IAAL 理事)。

以上

i http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm

ii <http://www.juce.jp/edu-kenkyu/2013-literacy-guideline.pdf>

iii <http://www.janul.jp/j/projects/sftl/sftl201503b.pdf>